

WEEKLY REPORT

<理事会報告>

大川高明会長

- 第1号議案 グローバル補助金(GG)奨学生申請について
4/22日(水)メールにて役員・理事に決を採り全員賛成で決裁されましたので 3/24日(金)クラブより地区財団委員会へ申請書を提出致しました
財団補助金選考会 当クラブからは大塚幹事が出席予定
日時 4月 23日(日曜日) 9:30~19:00
場所 千葉商工会議所
- 第2号議案 創立50周年記念式典打上げについて
親睦も含め今後検討し決定する
- 第3号議案 外部講師例会について
本日配布のパンフレットを活用し多く会員増強のための新会員予定者を集める
- 第4号議案 6月の家族例会について
日時 6/21日(水) 18:00~20:00 予定
親睦委員会と式典打上げも含め検討する
- 報告事項
第13グループ5クラブ親睦ゴルフ大会
4/14日(金) 藤ヶ谷カントリークラブ
選手は各クラブ8名40名10組
オブザーバ5組16名



<幹事報告>

大塚精一幹事

こんにちは、幹事報告を申し上げます。
①トルコ・シリア大地震義援金ご協力とご報告
小倉純夫ガバナー他から
2790地区からガバナー会経由で2430地区へ直接支援された金額は
合計 4,500,000円
RI財団へ送金された金額は3月31日現在
合計 833,211円
② 国際ロータリー第2790地区ローターアクト第51回年次大会登録のご案内
小倉純夫ガバナー他から
2023, 5, 20(土)
三井ガーデンホテル千葉4階天平の間
以上、幹事報告でした。



<増強委員会>

小澤直之委員長

- 5月24日の講師例会につきまして
入会候補者を募る為に案内を三枚お配りしました
- 次年度役員理事につきまして
役員理事一覧をお配りしました
- 4月29日の地区協議会につきまして

《会報編集委員》岡本真理子・関 征啓・小澤盛明・平野崇広 社会奉仕基金 3183円

Rotary 2022-2023年度

国際ロータリー 第2790地区 第13グループ

松戸北ロータリークラブ会報



「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

例会出席率 75.0 %

第2386回 例会 2023年 4月5日(水)

- 国際ロータリー会長 シェニファー・E・ジョンズ
- 例会日 - 毎週水曜日12:30より(第1例会18:30)
- 第2790地区ガバナー 小倉 純夫
- 例会場 - 流山市前ヶ崎717「柏日本閣」
- 第13Gガバナー補佐 高橋 竜一
- 事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイム101
- 松戸北ロータリークラブ会長 大川 高明
- TEL/FAX - 047-711-5950 / 047-711-5910
- 松戸北ロータリークラブ幹事 大塚 精一
- Web/Mail - www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

＜第2376回 例会プログラム＞

司会 野澤新之助会員

12:30	例会開始時まで各自食事	
13:00	点鐘 ロータリーソング静聴 【♪奉仕の理想】	大川高明会長
13:05	会長挨拶・理事会報告 幹事報告	大川高明会長 大塚精一幹事
13:20	【委員会報告】 ■出席親睦委員会 出席率発表 ■社会奉仕委員会 本日の社会奉仕基金発表 ■ニコニコ委員会 本日のニコニコ発表	平田洋一委員長 野澤新之助委員長 吉田俊一会員
13:30	点鐘	大川高明会長

＜会長挨拶＞



大川高明会長

皆さんこんにちは。専修大学松戸高校野球部が選抜で初のベスト8で終わりました。今回の実力からすると夏の大会出場も期待したいと思います。今月は環境月間です。2022年10月にRI理事会で決定された重点分野の1つで、天然資源の保全と保護を強化し、環境の持続可能性を高め、人と環境との調和を促す活動を支援する。温暖化や異常気象、食糧問題等環境は私たちにとって身近な問題です。

ロータリー財団管理委員会と国際ロータリー理事会は、「環境」という新たな重点分野を追加しています。過去5年間、財団のグローバル補助金では、1800万ドル以上が環境に関連したプロジェクトに充てられました。環境を支援する別個の重点分野を設立することで、ロータリアンが世界中の地域社会でよりよい変化をもたらす、より大きなインパクトを生み出す一助となります。

環境は、ロータリーの7つ目の重点分野となり、グローバル補助金によって実施される奉仕活動のカテゴリーとなります。そのほかのカテゴリーは、平和構築と紛争予防、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、地域社会の経済発展です。

グローバル補助金－奨学金について少し説明させていただきます。

グローバル補助金は、世界で求められている人道的ニーズや課題を反映したロータリーの重点分野のいずれかに関連し、長期的に大きな成果が期待できる、大規模で国際的な活動を支えるものです。グローバル補助金における奨学金は、重点分野の1つあるいは複数に関連する研究のための、大学院または同等の研究機関での1～4年間の留学を支援するために提供されます。具体的には7つの重点目標に関連することが必要です。

①平和の推進

紛争の予防・仲裁や難民支援に当たる人材を育て、異文化間の交流と対話を促すことで、平和な世界づくりを目指しています。今日、紛争、暴力、弾劾、人権侵害によって家を追われた人の数は7000万人。その半数が子どもです。このような状況を、私たちは絶対に受け入れません。ロータリーは、異文化交流を通じて相互理解の心を育て、紛争解決のスキルを備えた人材の育成を通じて平和な世界づくりを促進しています。

②疾病との戦い

命を脅かす病気(ポリオ、エイズ、マラリアなど)について正しい知識を伝え、発展途上国で低額または無料の医療を提供するなどして、病気の予防と治療を支援しています。誰にとっても「健康であること」は何より大切。でも、基本医療を受けられない人は世界で4億人とされています。質の高い医療を受ける権利はすべての人にあります。世界で数百万人が病気によって苦しみ、貧困を強いられています。私たちが疾病の予防と治療に力を注ぐのは、このためです。病気の蔓延や医療不足に悩む地域社会に、仮設クリニックや献血センター、研修施設をつくり、医師と患者と政府が協力できるインフラを設計するなど、世界中のロータリー会員は、人びとがより良い医療を利用できるよう支援しています。マラリア、HIV／エイズ、アルツハイマー、多発性硬化症、糖尿病、ポリオなど、人びとを苦しめる病気の予防・治療や患者の支援に当たっている会員も大勢います。衛生教育のほか、無料の定期健康診断や眼科・歯科検診も行っています。

③水と衛生

「ただ井戸を掘って終わり」ではなく、きれいな水や衛生設備を活用して長期的な地域発展が実現できるよう、包括的な支援を行っています。安全な水と衛生設備の利用は、すべての人がもつべき権利なのに、汚染水で病気になる人や命を落とす人が後を絶ちません。未来を担うはずの子どもたちは、水汲みなどの労働によって学校に通えず、つらい境遇を強いられています。私たちの活動は、井戸を掘るだけではありません。安全な水と衛生設備を提供した上で、衛生や伝染病予防に関する教育も行うことで、コミュニティ全体の生活を改善し、子どもの通学率を高めています。

④母子の健康

世界では毎年、5歳未満の子ども600万人近くが、栄養失調、不健康、不衛生のために命を落としています。ロータリーは、質の高い医療によって母と子の健康を守っています。毎年、5歳未満で命を落とす原因である、栄養失調、適切な医療や衛生設備の欠如など、どれも予防が可能なものばかりです。予防可能な原因で母と子どもが命を落とすことなどあってはならないと、私たちは考えます。すべての母子が質の高い医療を受けられるよう、そして、出産で命を落とす母親がいなくなり、子どもがすくすくと成長できるように、私たちは支援活動を行っています。

⑤教育の支援

世界で読み書きのできない人(15歳以上)は、7億7500万人。ロータリーはより良い学校をつくり、教育における性差別をなくし、成人への識字教育に力を注いでいます。地域社会が自力で学校を支え、教育における性差別を減らし、成人の識字率を高められるよう支援することが、私たちの目標です。

⑥地域経済の発展

生産的で十分な収入をもたらす雇用の機会の創出を通じて人びとの自立を促し、発展途上地域の(特に女性による)起業を応援しながら、リーダーとなる人材を育てています。雇用されているにもかかわらず1日にわずか1ドル90セント(約220円)で暮らしている人の数は、世界で約8億人。ロータリーは、貧困問題に持続可能な解決策をもたらすために活動しています。

⑦環境の保護

ロータリー会員は、プロジェクトを立ち上げ、つながりを生かして政策や方針の変更を促し、未来を形づくる計画を立てます。環境問題においても同じアプローチで取り組んでいます。

ロータリーは、人類共通のレガシーである「環境」を守ることが重要だと信じ、天然資源の保全と保護を促進し、環境の持続可能性を高め、人と環境との調和を促す活動を支援します。補助金やその他のリソースを提供し、地域特有のソリューションと革新を奨励しながら、気候変動と環境破壊の原因、およびその影響の削減に取り組みます。

この度松戸北ロータリークラブとして初めてグローバル補助金奨学生1名を推薦したことはご報告致しましたが、推薦した木下葵子さんは環境保護の分野の研究でドイツホーエンハイム大学(環境保全農業食料生産専攻)大学院の試験を受け合格されています。具体的な履修コースは「将来の世代が必要とする天然資源を枯渇させることなく、世界の人々が安心して生活ができるように、環境問題と持続可能な食料調達を目指すことを大きな目的としたコースで、将来の大きな課題の1つとして、環境保護と持続可能な生産システムの構築が挙げられます。そのため、この修士プログラムでは、食糧危機の予測シミュレーションや、環境変化の原因・メカニズム追求などの研究」です。

木下さんはロータリーの重点分野の「環境」との関連では天然資源を保存、保護、および持続可能な方法で利用できるようにするための保全と、気候関連の事象の影響を受ける生態系と地域社会のための適応と回復力戦略を支援することが、この専攻では可能だと考えており、生態系を知るためのフィールドワーク、生態系に及ぼす環境原因をモデリング分析とバイオテクノロジーを駆使した実験により解明し、ただ生態系を保護する一時的な活動に留めず、生態系崩壊の原因を究明し根本的な解決と、人とその他の生態系が双方快適且つ持続可能な在り方を提案することを考えています。

4/23日の地区補助金奨学生選考試験で合格してほしいです。